

ヨルハ二号B型のジャンクを回収

オナホ 肉便器

に改造する



セリフ有無差分
152枚
ベース絵12枚

2B オナホ 計画

A character with large, prominent breasts and a black top is lying on a gurney. The character's eyes are closed, and they appear to be unconscious or dead. The scene is set in a dark, industrial-looking environment, possibly a laboratory or a medical facility. The lighting is dramatic, highlighting the character's features.

『ヨルハニ号B型、通称2B型の死体を回収』
『ボデイ修復、ユニット交換完了』
『新規制御プログラムインストール中』

「よしここまででは順調
最後に使用感を試してみようか」

「戦闘で破損したアンドロイドを修復し
肉ラブドールに改造する、完璧な計画だ」



「くっくっ…爆乳のむちむちボディユニットを
換装してやったが、よくない感じであるな」



ぽちっ

「そのままぶち込んでやるぜ」

ぽちっ



うわぁぁぁ

!

「ううっ……すげえ締めりだ
ここは手え加えてねえのに……
こんな名器標準搭載なんて
すげえドスケベアンドロイドだな」

うわぁぁぁ

んんん

みん

いん

んんん

んんん









「実験終了、
2B型の使い心地は予想以上だった」

「時間をおいて引き続き
使用実験を続けていく」

ビィ

びん

びん

お...

びん

実験継続、後背位での性交実験

「ううっ……やっぱ2B型といたらケツだろ」
「ケツが恥骨に乗ってくるし、具合もサイコーだわ」

オハ

うわっ……

オハ



んんん





死なななな

死ななな

死ななな

実験終了
以後、定期的に2B型の使用実験を
続けていく



第10回使用実験

今回は性器使用后、アナルの
使用感を確認する。

みちっ

はぁっ

てろっ

みちっ

ぐっ

ぐっ





「膣の使い方の変化を確認
引き抜くタイミングで上手く
収縮している」

ズッコッコ

ズッコッコ

ズッコッコ

ズッコッコ

ズッコッコ

「自己成長プログラムの作用で
喘ぎ声にも若干の変化が見られる」

ひゅひゅ

あっひゅ



「へへへ…だんだんいやらしい女になってきたな」
「媚びた声出しやがって…このまま可愛がって
完全な肉便器オナホにしてやる！」

ズッコ
ズッコ

ズッコ
ズッコ

お♡

お♡

ズッコ
ズッコ

ズッコ
ズッコ

ズッコ
ズッコ

「三日月の甲斐種付けしてやる」
りんご

ズッコ
ズッコ



お尻を揉んで

ムムムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

が
る...

グ
グ
グ...

ふう...
相変わらず前の穴の具合は良好だな

続いてアナルでの性交実験を開始

はあ

はあ







肛門性交開始
反射的な反応として強い締め付けを
感じる、締め付け調整プログラムが
必要かもしれない

精液のおかげで挿入は楽にいったが
普段はさすがにローションが必要か…

ズル
ズル
ム

ズル
ズル
ム

ズル
ズル
ム
ズル
ズル
ム

ケツの穴も使い込んでから
プログラムの導入を検討しよう





ヒッ

ヒッ

ヒッ

おっぱい大好き♡

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



お♡

が
る
ん♡

お♡
ん♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡

♡

肛門性交終了
メシも食わねえのにこんなモノ
ついてるなんてドスケベすぎンだろ……

ほほほ……

ほほ……

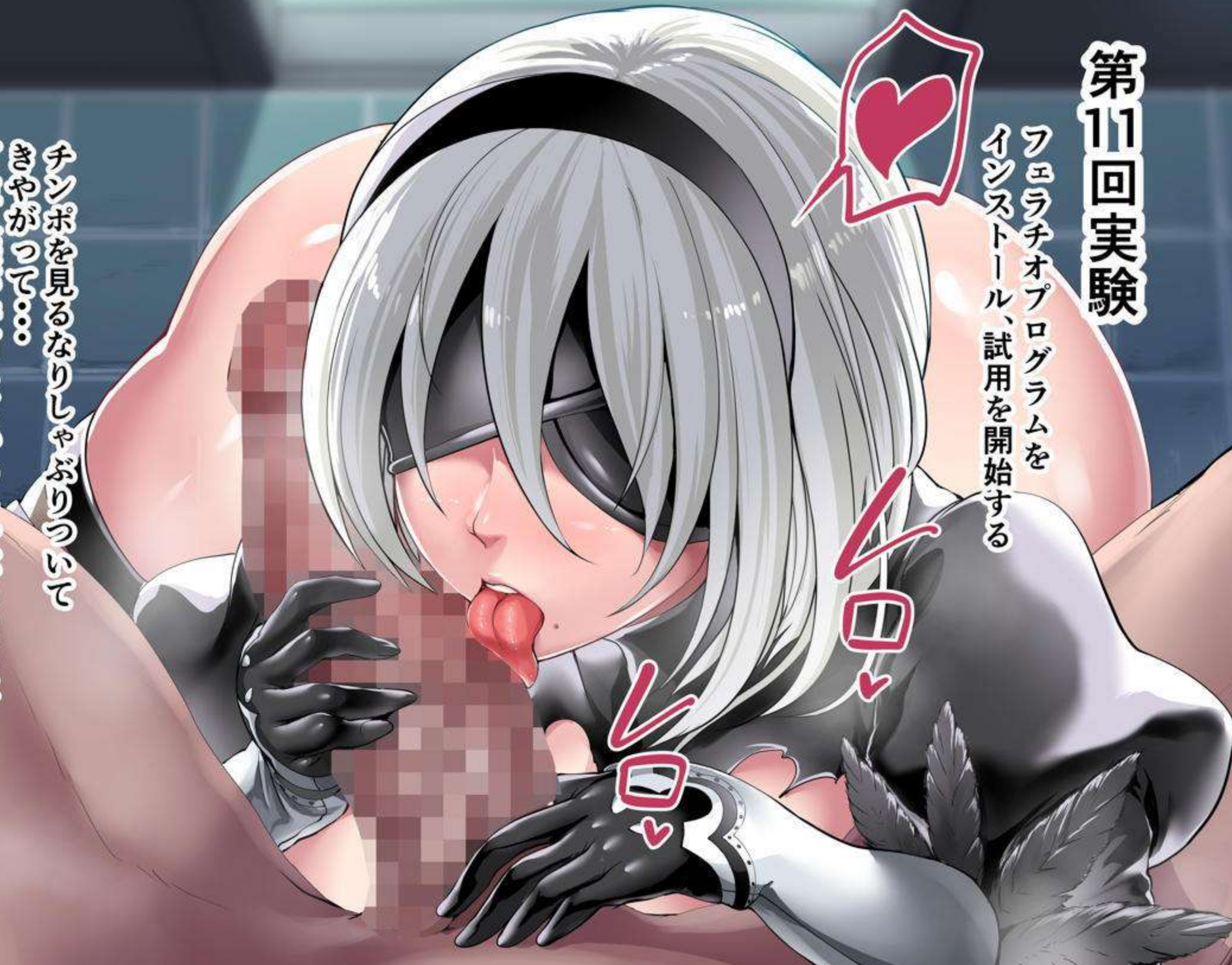
んまっ

まっ

次回の実験では性器を使った性交以外の
行為を試していく
今のうちにレポート書かなきゃな

第11回実験

フェラチオプログラムを
インストール、試用を開始する



チンポを見るなりしゃぶりついて
きやがって…
ご主人様が許可してからしゃぶるように
プログラム実行条件を変更する必要があるな



喉の使い方も抜群だ
高級娼婦みてえな舌づかい……





おっぱい...
おっぱい...
おっぱい...

おっぱい
おっぱい
おっぱい

フェラチオ実験終了
プログラムの不備は確認
できず、このまま運用しても
問題なさそうだ

はる

はる
はる
はる

はる

はる
はる
はる



今回の実験は終わったが、いまいち物足りねえ
オナホまんこレイプしてヌいでやるかあ！

あ
あ

10
10

4
4

10
10



膣の締め付けが
つよく、よく濡
れている
フェラチオでい
やらしく発情し
やがって
淫乱アンドロイ
ドめ!

ん
♡

あ
♡

ずん
ずん

ずん

ずん
ずん

ずん

ずん
ずん

ずん
ずん

ずん
ずん





アッアッアッアッ

アッアッアッアッ

アッアッアッアッ

アッアッアッアッ



おはようおはようおはよう

ドドド

ドドド

ドドド

ドドド



大好き♡♡♡

ヒッ♡

ヒッ♡

ヒッ♡

ヒッ♡

ヒッ♡

ヒッ♡

その後数時間2Bを使用し続けたが、
損傷や、不具合は見られなかった
逆にどんどん感度が上昇している
快楽を学習し、成長するプログラムが
影響していると思われる

ビーン♡
ビーン♡

ゴッ♡

ドホォ...

俺が修理する以前に
相当丈夫にできてるみたいだ

本来なら
1日に何十人も相手にできる
ポテンシャルを持っているかもな

おはよう♡

「言語プログラム」インストール中

64%...完了までしばらくお待ちください



やっぱ人型オナホである以前に
アンドロイドはしゃべらないとな
言語が加わることでプレイの幅は
圧倒的に広がっていきなろう

インストール完了セットアップ開始

よし、2Bの発話実験を開始する

「あ……ア……」

「よし、まずは動作確認のため
事前に準備したテキストを読み上げさせる」

「汎用人型セクサロイド2Bです……
マスターのおちんぼのお世話を
させていただきます……」



「マスター、お願いします……
はやく私のおまんこにおちんちんハメて
ください……」

「すげえ……」

もう思考と言語のリンクができてる」

ほあ♡

はあ♡

「昨日、ハメていただいたの
すごく気持ちよかったです……」

「くくく……」

やっぱり言葉が通じるってのは
素晴らしいな。」

「ハメてほしかったら俺の尻のことを
ちゃんと聞くんた」

「じゃあ腕を頭の後ろにおいて服従のポーズをしろ！」

「おっおっ」

んん

んん

んん

「よし、そのポーズのまま
おねだりしてみろ」



「私はっ♡マスターのっ♡専用オナホセクサロイドです…
マスターのおっ…♡おちんぽを…
私のおまんこでっ♡ごかせてください♡」

はぁっ♡

いっ♡

はぁっ♡

いっ♡

いっ♡

「完全に発情したメス豚だな
ケツこつちに向ける ぶち込んでやる！」

たっっっ
びんっ

びんっ
たっっ

たっっ
びんっ

びんっ

「ああ…
マスターのおちんぽ大きくなつて…」

「早くおまんこにぶちこんでくださいっ♡」





あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

『あ...』



両乳♥
おっぱい♥

ズ
ズ
ズ
ズ

ん
ん

「おらっ！
お望みのちんぽぶち込んで
やったぞ 感謝の言葉は
どうしたあ?!」

「おほっ♡」

「あ♡おほお♡
おちんぽありがとっ♡おちんぽおちんぽ♡」







「マスターっ♡
お尻♡やめてくださいっ♡」

あっ♡

あっ♡

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

「あっ♡は
ありがとうございますっ♡」

「あっ♡ありがとうございますっ♡
お尻叩かれるの気持ちっ♡」

「このまま中に出しちゃってー！
受け止めてー！」

「はいっ♡
お願いします♡
マスターの精液注いでくださーい♡」







アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



アッ! っ

アッ! っ

おっ

おっ! っ

「ふう……出した出した
これからも実験協力頼むぞ」

はあ♡

はあ♡

「はあ……♡はあ……♡
使っていたいただきありがとうございます♡」

どっほお…





2B型アンドロイドに酷似した個体を鹵獲

内部プログラムには2P型、とあるのを確認

2Bは主に乳房の肥大化改造を行ったので、
こちらには臀部の肥大化を中心に改造を行った」

「……どこですか……は？」
下半身の拘束……私に何をするつもりですか？」

はあ

はあ

ムフ

ムフ

ムフ

ムフ

「2P、おまえはこれから俺の肉便器になるんだ
そのためにおまえには改造プログラムを施したんだからな」

「……新たに追加された内部プログラムを確認……
はい……ご命に従います……」

『はぁんっ♡』

「ううっ
2Bと比べて弾力があって
締め付けが強いな
開発しがいがあるっ……!」



「ああっご主人様のおチンポ
奥まで届いて気持ちいいですっ♡
もっとう突いてくださいいいっ♡」

「2Pはなぜか順応が早くMの傾向が強いな
仕込んだのは同じプログラムだが
これは単純な個体差なのか、はたまたま……」

ズッポッ

ズッポッ

ズッポッ

ズッポッ

ズッポッ

ズッポッ





（個体差については追々研究していこう...）

「2Pそろそろイクぞ！
まんこ締めろおつー！」

「ほっほっ...どうぞっ
中でたくさんお出しくださいっ」

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ



「おっふおおおおおおおおおおおお
ご主人様のザーメンいっぱい
でてますうううううう」❤️

ク
ム
ム
ム
ム



「とりあえず調教は
2Bに任せてみるとしよう」

「いつも俺好みの肉便器になるまで
教育していくとするか」

グッ
グッ

グッ
グッ

はぁ

「はぁーっ♥はぁー♥
おなかの中・・・たくさんザーメンを
恵んでくださりありがとうございます♥」

はぁ

びん

グッ
グッ

グッ
グッ

「2B、調教は済んだか？」

「はいマスター、順調に進んでおります」

調教によって
自律学習機能の更新を
試してみる。これによって
負担を減らすとともに
アンドロイド同士の
相互学習を計る







「はぁ……はぁ……ムチをいただきありがとうございます……」

「ご主人様にいじめていただいて私は幸せです……♡」

「よし、じゃあ調教の成果を試してみるか」

ア
ト
↑
↑
↑
↑
↑
↑
↑
↑

「おっほおおん♡
おちんぽありがとうございます
ご主人様あ♡」



ズン
ズン

「あっ♡おほっ♡
ご主人さまのおちんぼ
奥まで届いておりますううっ♡」

「あの……マスター！
後で私にも調教の
ご褒美を……」

ズン
ズン
ズン



『んほおおお♡♡
ザーメンもちぢらららららららららら♡♡』

ドクドク



「おほお……♡
こんなに濃いザーメンを
ありがとうございます♡」

おほお……♡

アンドロイド二体の調教開始から60日目、
二体ともかなり従順になり、性行為の技量も
熟達してきた。

今では性衝動を促すプログラムを抑え込む
別のシステムで制御することになるほどだ

今日も二人に性処理をさせる
今後はもっと個体数を増やし、
彼女たちを教育係としても
活用していくつもりだ



「マス穴もつと調教してマスター専用の穴になるまで
突きまくってくださいさいいっ♡」

「おほおおっ♡」

「マスターのおちんぼ
私の子宮押しつぶしてまいりますうううう」

ん

ん

ん

おほっ
おほっ

おほっ

ん

ん



「ご主人様あつ♡次は...私めに
おちんぼ恵んでくださいっ
おまんこなめられるだけじゃ
我慢できませんっ♡」

「ダメええええっマスターは私のものですっうう
おちんぼ誰にも渡さないっ♡」

「あー♡」
「あー♡」

「あー♡」
「あー♡」
「あー♡」

「あー♡」

「あー♡」

「あー♡」

「あー♡」

「あー♡」

「あー♡」





「あああつ♡イきますつ
マスターのおチンポでおまんこイきますつ♡」

「ザーメンでおまんこ
とろけさせてくださいいつ♡
マスターの女になるまで
かわいがつてくださいいつ♡」

ほん、
ほん、

ほん

ほん

ほん、ほん♡

ほん

ほん♡

ほん、

ほん





Large stylized red speech bubble or sound effect in the top left corner.

43
33

Large stylized red speech bubble or sound effect in the top right corner.

Large stylized red speech bubble or sound effect in the bottom left corner.



ブッブ

ブッブ

ウウウ

乳が膨らんでくっつく

「マスターのザーメン……
子宮にしみ込んできますっ……♡」

ざ
None……

あ

あ

あ



「ああ♥ようやく私の番ですね♥」

〜M様

ほいほい♥

おちんぽ

「ご主人様♥早く私にも太いおちんぽ
ブチ込んでください♥私の膣ヒダで
思いつきりしごかせていただきます♥」



「Good♡
一回射精したのにもうこんなに勃起して…♡」

はっ♡
はっ♡

「はやく私のおまんこにも射精してください♡」



女

ま

「あっ……♡おっ……♡
ん……おっ……おほお……♡」

みろ、みろ

「太いいいいい♡
ご主人様のおちんぽ大きすぎますすうううう♡」

「そのままっ♡そのまま突いてくださいい♡
私のことなんて気にせず私の膣でおちんぽ
しごきまわってくださあ♡」

「あああああっ♡
おちんぼすごいですっ♡膣をえぐって
ぐちゃぐちゃにされてますうらうらっ♡」



「そろそろイクぞー！肉オナホめ！
子宮で精液受け止めてザーメンタンクになりやがれっ！」

「はああああん♥ザーメンお出しくださいっ♥
2Bにしたようにたっぷり種付けしてくださいっ♥」





「おっほおおおおお♥」

「ご主人様のことでありザーメン
奥までとどろいてますらるらるらる♥」



「お……おほお♡
子宮がもうたふたふです……♡」

ビーン

ビーン

ビーン
……

ビーン



「んっご主人様、

今日もたくさん可愛がってくださいます
今日は私のほうを先に……♡」

「ああんっ♡ダメです♡
私のほうを最初に可愛がってください♡」

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

「わかったわかった
二人とも可愛がってやるから
心配するなよ」

「はいつ♥マスターのことをこれからも
ずっとお世話させていただきます♥」



結果報告

三体のアンドロイドを
セクサロイドに改造する実験は
無事成功した。三体とも今や
従順な肉便器オナホと化した

これからどんどん彼女たちを鹵獲し、
個体数を増やしていけば
可能性は無限に広がっていくだろう……









































































































